

地 域 と 医 療 で 咲 く コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン

あまが咲

2015

8月

No.15

 兵庫県立尼崎総合医療センター

だより

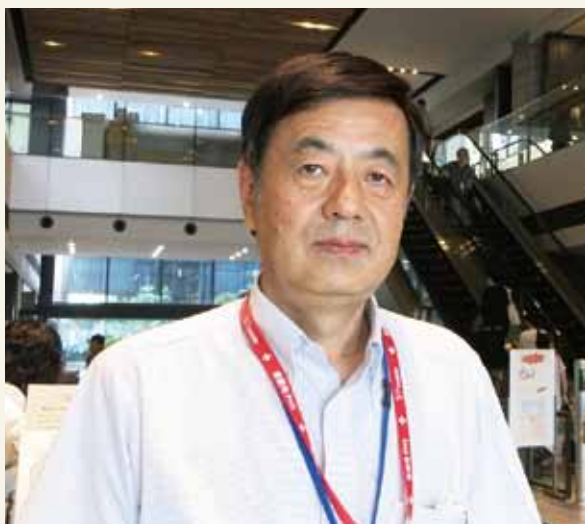
〔管理局長挨拶〕

「兵庫県立尼崎総合医療センター」
オープン！



〔各科紹介〕 循環器内科・小児科

- ぶらり〜っと病院探訪
- 尼崎市医師会会長からの“ひとこと”
- 理想的なハイブリッド手術室が完成しました！
- セミナーのご案内



管理局長の挨拶

兵庫県立尼崎総合医療センター

管理局長 中山 嘉久
Yoshihisa Nakayama

「兵庫県立尼崎総合医療センター」オープン！

平成27年7月1日、兵庫県立尼崎総合医療センターは、県立尼崎病院・塚口病院からの患者移送を無事完了し、開院しました。

振り返りますと、平成22年に「尼崎病院と塚口病院の統合再編基本計画」が策定され、2病院が統合する大きなプロジェクトがスタートしました。同じ県立病院とはいえタイプの違う病院の統合再編だけに課題は山ほどありましたが、運用の統一に向けた会議を数え切れないほど開催するなど検討に検討を重ね、ようやく大きな卵の殻を破って生まれることができました。これも地域住民・地域の医療機関・関係機関の皆様から多大なるご協力・ご支援をいただいたからこそと、あらためて感謝申し上げます。

尼崎総合医療センターは、ER型救命救急センターや総合周産期母子医療センターの設置、最新鋭の放射線治療装置、ロボット手術装置やハイブリッド手術室の導入等による大規模な高度救急・専門医療の提供、外来関係部門の1、2階集約配置や4床室における個室感の創出など患者さん本位の施設整備、免震装置の設置や災害時の患者収容スペースの確保など災害拠点病院としての大規模災害時への対応等々様々な特色を持っており、阪神地域における高度急性期・高度専門医療の拠点病院として貢献していきます。

両病院が統合してひとつの大きな病院となり運用も一新したことから、開院当初は慣れない点もあり、患者さんには何かとご不便・ご迷惑をおかけしましたが、徐々に改善してきております。

職員一同、新病院の運用に1日でも早く習熟し、患者サービスの向上に努めるなど、地域に信頼され親しまれる病院として、皆様のご期待に応えるべく精一杯取り組んでいきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

ぶらり~っと 病院探訪

永久欠番「背番号11」

尼

崎総合医療センター正面玄関前の遊歩道に、元阪神タイガースの大投手 故村山実選手のピッチングフォームの銅像が設置されています。年配の方はよくご存知と思いますが、村山選手は、昭和34年~40年代にかけて、闘志むき出しで全身を使った「ザトベック投法」で知られ、2代目「ミスタータイガース」と呼ばれプロ野球界で大活躍された大記録保持者ですね。

平成16年、村山選手の出身校 住友工業高等学校(のち尼崎市立尼崎産業高等学校)の卒業生らの寄贈にて同校門に設置されていましたが、同校の統合・移転に伴い、その跡地に開院した当センター内に再び設置し末長く功績を讃えることになりました。



循環器
内科

国内最高水準の 循環器内科医療を行います



国内最高水準の循環器内科診療を多くの患者さんに貢献できるよう、日々心掛けております。集中治療室も16床 配置し、高度医療の提供及び救急医療体制の充実を図っています。また狭心症、大動脈疾患のカテーテル治療や不整脈のアブレーションなどの手技の他、早期診断から心臓リハビリ、多職種介入まで、幅広い「総合循環器」ともいうべき守備範囲で医療を行っています。国内外で多くの学会発表やカテーテルライブの術者、コメンテーターなどを行っており、新薬の海外同時治験も多く行っています。

対象とする主な疾患



心筋梗塞、狭心症、閉塞性下肢動脈硬化症

薬剤治療とともに、カテーテル治療を行います。専門の学会、研究会で術者、コメンテーターを行っている専門医のチームが、緊急時にも迅速に対応しながら高度な治療を丁寧に行います。

不整脈

不整脈専門医のチームにより、きめ細かい高度な治療を丁寧に行っています。心室性不整脈、上室性頻拍、心房細動などで薬剤抵抗性の場合、カテーテルアブレーションを行います。徐脈の場合はペースメーカーを植え込みます。

大動脈瘤、大動脈解離

心臓血管外科とのチームにより治療にあたっています。ステントグラフト治療はクリーンなハイブリッド手術室で行います。大動脈瘤破裂、急性大動脈解離など緊急時にも対応しております。

心不全

急性心不全は救急疾患として治療にあたります。慢性期にはガイドライン推奨治療と並行して、心臓リハビリテーション、多職種介入など多角的な治療を行っています。

狭心症の早期診断

冠動脈CTを用いて早期に狭心症を診断します。低被爆であり、不整脈症例などでも高解像度の鮮明な画像が得られるように努めています。

小児科

こどもの健康と安全を守る小児科



新生児 チーム

後列左から：
大西医師、稲垣医師、松島医師
前列左から：
寺西医師、西田医師、飯尾医師



後列左から：
松田医師、末廣(穰)医師
中橋医師、松永医師

中列左から：
西谷医師、徳永医師、加藤医師、末廣(沙)医師、内藤医師
高橋医師、花田医師

前列左から：
窪田医師、川崎医師、西濱医師、松本医師
毎原医師、宇佐美医師、石原医師

一般小児 チーム

小児・総合周産期
母子医療センター長
兼 小児科科長

毎原 敏郎

日本小児科学会 専門医
日本小児神経学会 小児神経専門医
京都大学附属病院小児科 臨床教授
日本小児科学会 代議員
日本子ども虐待医学会 評議員

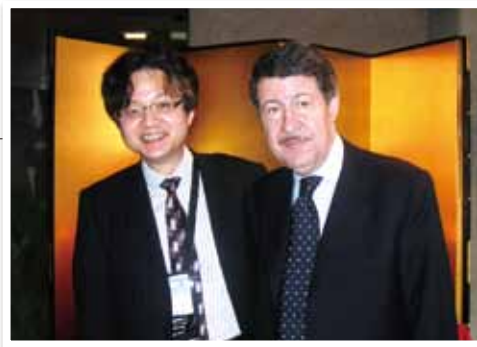




循環器内科科長 兼 研究部長

佐藤 幸人

京都大学臨床教授
日本循環器学会認定循環器専門医
日本心不全学会評議員(心不全予防委員)
日本心臓病学会評議員(国際学術交流委員)
日本循環器学会
心臓移植適応小委員会委員
兵庫県看護協会
慢性心不全認定看護師教育課程講師



急性心不全の臨床シナリオを提唱した
Gheorghiade 先生と。



後列左から：山本医師、堀田医師、池田医師、小林医師、宮崎医師、佐賀医師、蔵垣内医師、柴医師
辻医師、後藤医師、坂本臨床工学技士、中山医師、宮田医師、黒住医師
前列左から：福原医師、谷口医師、宮本医師、北医師、佐藤医師、鷹津医師、当麻医師、吉谷医師

兵庫県立尼崎総合医療センターには、新生児期から思春期にかけてのこどもの健康と安全を守るために、小児科・小児救急集中治療科・小児循環器内科・小児アレルギー科として総勢34名の小児科医が勤務しています。また阪神地域の中核病院として小児医療をますます充実させるために、大学医局の壁を越えて病院が連携する小児科専門医研修の体制作りにも取り組んでいます。

紹介

周産期医療

兵庫県立塚口病院の時期から、産婦人科・小児外科などと協力しながらリスクの高い妊娠に対する医療・高度な新生児医療を提供してきましたが、新病院の開設とともにさらに施設・設備を充実させて、兵庫県から総合周産期母子医療センターとしての指定を受けています。

小児救急医療

救急部との緊密な連携の下に、外傷も含めて24時間365日の受け入れ体制を作り、初期対応から高度な集中治療まで、迅速で切れ目のない救急医療を提供します。

成人への移行医療

大人になった後に、疾患の医学的管理が必要となる場合もあり、どのような形で成人の診療科に引き継いでいくかは小児医療の大きな課題となっています。当センターでは総合病院である利点を活かして、この移行医療を円滑に進めていくことを目標の一つとしています。

対象とする症状・疾患

小児科には表のように多くの専門外来があります。成人では専門科として独立している分野も小児科の中で診療しており、また「乳児健診」「予防接種」「染色体・遺伝」などの外来も開設しています。各々の小児科医が「こどもの総合医」とであると同時に専門領域を持ち、お互いに協力し合いながら一つの科としてまとまっているのが、当科のもっとも大きな特徴です。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
神 経	血液・腫瘍	NICU フォローアップ	アレルギー	内分泌・代謝
ダウン症	神 経	1ヶ月健診	食物負荷試験	腎 臓
NICU フォローアップ	リウマチ・膠原病	発達相談	児童精神	発達障害
慢性疾患	染色体・遺伝	シナジス接種	NICU フォローアップ	川崎病
	予防接種			シナジス接種
				NICU フォローアップ

県立尼崎総合医療センターへ



県立尼崎総合医療センターの ご開院によせて

尼崎市医師会会長 黒田 佳治さん



県立尼崎総合医療センターのご開院おめでとうございます。われわれ医師会員は県立尼崎総合医療センターの開院を心待ちにしていました。尼崎市になかった救急最後の砦である救命救急センターが稼働し始めます。また、阪神南北医療圏を対象とした「24時間365日」対応するER・総合診療型救急医療と癌、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病などの高度専門医療、妊婦、新生児に対する総合的周産期医療を担う急性期・高度専門医療病院としての役割をこの地で果たしていただきたいと思います。また災害拠点病院として、屋上にヘリポートを整備し、免震構造など万一のときにも病院機能を失わない建物の構造を整えられています。非常に心強く思います。

救急患者搬送は阪神南北医療圏で医師会と消防局が協力し、広域で対応できる阪神医療福祉情報ネットワーク協議会が運営する「阪神むこねっと2次救急システム」があり、効率の良い救急搬送システムを運用し、成果を挙げています。急性期の患者さんの治療を円滑にするためには、近隣医師会の医療機関と緊密に連携することが欠かせません。地域医療機関をかかりつけ医とされている患者さんの症状が悪化した際には直ちに受け入れる一方、急性期から回復期に移られた患者さんを地域の医療機関にスムーズにお返ししていくなど、地域医療連携を、一層密にしていかななくてはなりません。そのために「阪神むこねっと患者情報共有システム」での地域医療連携ICT化を進めています。県立尼崎総合医療センターはその中心的な役割を担っていただきたいと思います。これからはさらに介護、福祉と連携し地域包括ケアシステムの構築に拡大発展させたいと考えています。

県立尼崎総合医療センターに対する、市民、近隣医師会、医療機関の期待は非常に大きく、今後とも、安心、安全で良質な医療を提供し、名実ともに「地域住民の安心の拠り所となる病院」を目指していただきたいと思います。新病院の円滑な運営に向け、引き続き、尼崎市医師会も御支援、御協力してまいります。これからますます発展されます事を期待しております。

この7月から新しい電話相談ルールができました！ 尼崎市における 夜間の小児科診療体制が変わります！

- ▶ 尼崎市休日夜間急病診療所（尼崎市水堂町3-15-20）での **小児科の応急診療受付** は、平成27年7月15日より午後11時30分までになりました。（内科・耳鼻咽喉科・眼科には変更ありません）。
- ▶ 午前0時以降に、子どもの急な病気などで医療機関を受診すべきかどうか迷う時、または、小児科受診を希望する時には、まずは、下記の「あまがさき小児救急相談ダイヤル」での電話相談をご利用ください。
- ▶ 相談内容により早急に治療が必要と判断された方は、ご紹介の上、当院で診察をさせていただきます。

注1：患者さんの重症度により診察の順序がかわります。
注2：紹介患者さんでない場合には、選定療養費2,600円をお支払いいただきます。



あまがさき小児救急相談ダイヤル（尼崎市民対象）

☎ 06-6436-9900

相談時間：毎日午前0時～6時

理想的なハイブリッド手術室が完成しました!

ハイブリッド手術室とは、X線透視や撮影が可能な血管造影装置を備えたカテーテル治療が可能な最先端の手術室です。手術室という清潔度の高い環境ですので、胸や腹部を開いてそこからカテーテルを挿入したり、外科手術とカテーテル手術を同時に行うなどの高度な手術が可能となります。

しかし、外科手術とカテーテル手術という二面性を両立することは簡単ではなく、これまでにあるハイブリッド手術室は、この二面性のいずれかが犠牲になっていました。今回、当院では新たに独自の改良を加えることによって双方を両立できる理想的なハイブリッド手術室が完成しました。



循環器内科部長・カテーテル部門長 当麻 正直 医師

心臓血管疾患に苦しむ患者さんは、より高齢で、より複雑な病状の方が増えています。このような患者さんは、通常の外科手術には耐えられないことも多いため、より低侵襲かつ高度な手術が必要となります。この手術室の完成で、従来より難易度の高い大動脈瘤ステント治療が可能になります。また、近い将来、心臓弁膜症に対してカテーテルを用いて人工弁を留置するという最先端の手術を開始する予定です。心臓血管外科、麻酔科、手術室部門、放射線部門、臨床工学部門など多種にわたる部門と共同でハートチームを結成し、他院で治療困難とされた難治性心臓血管疾患の患者さんも救命できるよう尽力いたします。

院長補佐 兼 部長(手術・集中治療担当)・麻酔科科長 進藤 一男 医師

ハイブリッド手術室では、上記の他にも、全身臓器におよぶ外傷を患い救命センターに運ばれてくる患者さんに対して、カテーテル手術と外科手術の両方を用いた全身の同時治療など、今までの手術室では不可能であった手術も可能となります。より複雑で重症な患者さんに対して、より高度な医療の提供で応えたいと思います。



セミナーのご案内

市民健康公開講座 市民すこやかセミナー 第53回すこやかセミナー

多くの方
ご参加を!

【テーマ】●手術で治る“せぼね”の病気「整形(脊椎)外科医ができること」

講 師: 県立尼崎総合医療センター 整形外科 医師 木村浩明

●家庭でできる くび・こしの体操

講 師: 県立尼崎総合医療センター 理学療法士 細川泰徳

【日 時】平成27年9月29日(火曜日)
午後2時~3時30分

【場 所】県立尼崎総合医療センター
参加費: 無料(予約不要)
開催場所にご注意ください!

★お問い合わせは、
尼崎総合医療センター 地域医療連携センター
☎ 06-6480-7000(代表)へ



編集後記

《私の猛暑対策》朝早く涼しいうちに病院へ出勤し、昼間は冷房の効いた院内で仕事を。そして、暑さも和らいだ頃遅く帰宅すること。仕事もはかどっていいですよ(^_^)(H.S)



兵庫県立尼崎総合医療センター

Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)

〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町二丁目17番77号 TEL 06-6480-7000(病院代表) FAX 06-6480-7001

URL: <http://agmc.hyogo.jp/>

兵庫県立尼崎総合医療センター

検索